

日本古代史の深層

古代史の復元

日本古代史解明に考古学的事実・中国文献を基にして考察するのが一般的で、神話伝承はほとんど無視されている。神話伝承には信憑性がないのが理由である。しかし、このような実情では、日本の古代に何が起こったのか具体的に判明することは永久にないであろう。もし、神話伝承が真実を伝えているとすればどのような古代史が浮かび上がってくるのであろうか。この「古代史の復元」は神話伝承が極力真実を伝えているとの仮定の下で作り上げた説である。これだけでは真実性はないといえるが、考古学的事実や中国文献と一致すれば、それが最も信頼のおける解となるのではないだろうか。

全国の神社伝承をまとめた原田常治氏の「古代日本正史」の年代を160年さかのぼらせて、一年二歳論の栗原薫氏の「日本上代の実年代」につないで見ると、中国文献や考古学的事実との驚くべき一致が見られることが分かった。細かく照合をすると、大和朝廷の成立過程や邪馬台国の実態など日本の古代に起こった出来事がかなり具体的に浮かび上がってくるのである。

この神社伝承を元に復元した古代史は弥生中期末以降のさまざまな遺跡・遺物の分布状況や変化及び中国文献の内容を、偶然とはとても考えられないほど自然に無理なく説明できるのである。このホームページはこの説と各種資料との照合をはかり、古代に起こったと思われるさまざまな出来事を神社伝承にいろいろな解釈を加えて復元したものである。

神社伝承・考古学的事実の解釈にはいろいろ考えられる。伝承は矛盾がない限り極力原典のまま採用することとし、矛盾が生じている場合でも変更は最小限に止めるという方針で古代史を復元した。

伝承はでたらめだと断じてしまえばそこから何も生まれないが、このようにして伝承を繋ぐと驚くほど一本につながり、互いの矛盾がほとんどないことがわかった。また、そこから色々と新しい発見もあった。

本説の骨子

(下の略年表はこの内容が神社伝承・考古学的事実・中国文献とどのように照合しているかは(目次)をご覧ください)

- ・倭国は西日本地域を指しスサノオが平和統一をした。九州統一のシンボルは中広銅矛である。
- ・日本(ヒノモト)は東日本地域を指しニギハヤヒが統一した。
- ・出雲国譲り神話は倭国の分裂(東倭、西倭)を指す。
- ・金印の漢委奴国は日向国を指し、その国王は鹿児島神宮の地にいたムカツヒメ(天照大神)である。
- ・統一前夜日本列島は西倭・東倭・日本に分かれていた。
- ・互いの後継者が結婚することによって西倭・日本の合併により大和朝廷が1世紀後半に成立。
- ・初期大和朝廷の日本書紀の紀年は天皇誕生からのものである。
- ・後漢書東夷伝の倭国王帥升等は第4代懿徳天皇である。
- ・倭の大乱は東倭を大和が統一しようとして、勃発した。
- ・黄泉国神話は倭の大乱を表わしている。イザナギ=孝霊天皇である。
- ・邪馬台国は大和である。卑弥呼は倭迹迹日百襲姫である。
- ・天岩戸神話はAD148年(崇神6年)の日食である。
- ・魏志倭人伝行程記事は1世紀の日向国への行程記事である。
- ・前方後円墳・銅鐸は三輪山山頂から昇る太陽の姿である。
- ・三角形は大和朝廷のシンボルであり、鋸歯紋・三角縁神獸鏡はそれを表わしたものである。
- ・狗奴国は球磨国(熊襲)である。

推定年表 復元した古代史の概略です。神社伝承・中国文献と考古学的事実を年代ごとに対比しています。

[日向国の推定年表](#)

[倭の大乱推定年表](#)

あらすじ 古代史の復元の概略です。要点を短くまとめています。時間のない方はここからどうぞ

総目次

このホームページの目次です。ここからすべてのページにアクセスできます。

調査日記

ただいま各地の伝承地・遺跡の調査を暇に任せて行なっています。ここはその調査報告です。随時更新します。

- 07.08.07 河内→和歌山→熊野→大和
- 06.07.27 河内→大和→和歌山→熊野→大和
- 06.05.22 麻佐岐神社→高岡神社→中山神社→天岩戸別神社→石上布都魂神社→安仁神社
- 06.05.03 韓窠神社→宍道湖南岸→比婆山（伯太）→吉備
- 06.04.22 熊野山
- 06.04.08 小田川流域→麻佐岐神社→吉備
- 06.02.18 日原神社→加茂町
- 06.01.04 壱岐→対馬
- 05.11.12 鰐淵寺→母塚山→楽楽福神社（印賀）
- 05.10.10 出雲→米子→北房
- 05.09.21 讃岐→吉備（未記載）
- 05.08.16 大和
- 05.07.27 [福岡](#)→[大分](#)→[宮崎](#)→[鹿児島](#)
- 05.06.20 蒲刈（未記載）
- 05.06.12 吉備（未記載）
- 05.05.20 多根→出雲→米子（未記載）
- 05.05.14 府中→矢掛→総社→吉備（未記載）
- 05.05.01 宮島→廿日市→広島→可部→東広島
- 05.04.16 御墓山→仁多→木次→高宮
- 05.04.09 三次→御墓山→安来→米子
- 05.03.26 香川県
- 04.11.21 尾道→府中
- 04.10.22 尾道→福山→吉備→鳥取→米子
- 04.10.16 福山→沼隈（未記載）
- 04.10.04 福山→吉備（未記載）
- 04.09.11 日南→木次→八雲（未記載）
- 04.07.02 日南→広瀬→安来→東出雲→八雲→木次→三刀屋→吉田（未記載）

最近のニュース

調査によって判明した内容を挙げておきます。詳細は随時本文に挿入する予定

- 08.04.27 葦嶽山調査の結果、真のイザナミ御陵は広島県の比婆山らしきことが判明。今までの記述の修正が必要。大規模な修正のため随時修正予定。
- 07.10.28 九州における大国主命の活躍拠点判明
- 07.10.10 神武天皇北九州での行動痕跡・瓊瓊杵行動痕跡詳細判明
- 06.08.12 饒速日尊大和統一方法の詳細判明
- 06.08.12 神武天皇の大和侵入経路判明・熊野山中に迂回した理由も判明
- 06.08.12 イザナギ・イザナミはスサノオの国家統一事業に積極的に協力したことが判明。イザナギが淡路島へ島流しにされたという以前の説を改める。
- 06.08.12 高天原の天安川原の場所を特定
- 06.01.08 韓国江原道春川市にスサノオが日本から訪問したという伝承地があった。
- 05.05.20 鰐淵寺の摩陀羅神社に素盞鳴命の遺骨を祀っている。スサノオ墓所か

新聞記事より

- 05.05.18 [最古級の前方後円墳](#)（朝日）
- 05.07.12 [滋賀で前漢鏡の破片](#)（神戸）
- 05.08.31 [羽曳野で前方後方墳発見](#)（読売）

更新記録(各種調査結果を元に本文の再編集・追加を行なっています。下は、その変更箇所を示しています)

更新日	更新ページ		更新内容
09.08.13	瀬戸内地方統一	追加	ヤマタノオロチ関連伝承の詳細 神武天皇南九州・出港・北九州における地図追加
08.01.14	神武天皇東遷経路	新規	吉備国高島宮
08.01.04	神武天皇東遷経路	新規	安芸国埃宮

08.01.01	神武天皇東遷経路	新規	山口県下の東遷伝説
07.12.28	神武天皇東遷経路	追加	神武天皇北九州での聖跡
07.12.09	神武天皇東遷経路	追加 新規	神武天皇日向発港から岡田宮着まで 神武天皇北九州での聖跡（一部）
07.10.28	大和統一	追加	紀伊国国譲り
07.10.21	神武天皇東遷開始	新規	神武天皇誕生から東遷開始まで 神武天皇日向発港
07.10.10	神武天皇東遷経路	分割	神武天皇東遷経路の一部修正・追加によりページを分割 神武天皇大和進入
07.04.14	神武天皇東遷経路	追加	神武天皇大和即位過程詳細
07.03.18	神武東遷経路	追加	エウカシを誅した事情
07.02.13	神武東遷経路	新規	神武東遷熊野迂回経路
07.02.03	邪馬台国女王卑弥呼	変更	天安河原位置の特定
07.01.28	広島県下の朝廷の扱い	追加	神武天皇滞在地の岡山県下の高島及び家島の追加
06.08.20	大和統一 饒速日尊の死	追加	葛城一族の系譜・三輪山周辺の統一過程 晩年の饒速日尊の隠棲地・合併論の台頭の具体化
06.08.15	大和統一 東日本統一	追加 追加	大和統一過程の具体化 東日本統一過程の具体化
06.08.13	北九州統一 瀬戸内沿岸地方統一 大阪湾沿岸地方統一準備	追加 追加 追加	北九州地方統一順路の推定 瀬戸内沿岸地方の統一順路の推定 大阪湾沿岸地方統一のための準備
06.08.12	南九州統一 紀伊国統一 素盞鳴尊の死	修正 新規 修正	イザナギ・イザナミはスサノオ国家統一に協力した(大きな訂正) 紀伊国の統一過程 素盞鳴尊の墓所の変更
06.02.26	年代推定	追加	各種資料との照合
06.02.25	倭の大乱黄泉国伝承 年代推定	修正 追加	出雲王朝に対する新説 年代推定表追加
06.01.09	瀬戸内沿岸地方統一 漢委奴国王	追加 修正	スサノオの対馬国建国と遺跡分布 ヤマタノオロチ伝承の詳細化 ヒコホホデミの対馬訪問と遺跡分布
06.01.08	瀬戸内沿岸地方統一	追加	朝鮮半島にスサノオ訪問伝説地が見つかる
05.12.24	スサノオの父フツ	修正	スサノオ生誕候補地の変更
05.10.11	倭の大乱伝承編	追加	吉備津彦軍の初敗北 大乱の概要編も一部修正
05.09.18	神社伝承	改定	あらすじの詳細化
05.09.15	倭の大乱黄泉国神話	追加	倭迹迹日百襲姫の卑弥呼就任の地について
05.09.11	倭の大乱吉備津彦の活躍	追加	温羅伝承について
05.09.04	倭の大乱伝承編	追加	出雲振根終焉の地について
05.09.04	倭の大乱黄泉国神話	追加	菊理姫について
05.08.23	年代推定	追加	皇室系図の追加 豪族系図のページの追加
05.08.21	倭の大乱の概要	修正	倭の大乱後の孝霊天皇の隠棲地
05.08.12	南九州の伝説の考察	新規	南九州の伝説の真実性についての考察
05.08.09	スサノオの死	修正	スサノオ出雲帰還理由の変更 オオクニヌシの出自の追加
05.08.09	南九州統一	修正	ムカツヒメ誕生地の変更 阿波岐原についての仮説
05.08.08	漢委奴国王	追加	ホホデミ命の業績の詳細化 鶺鴒草葺不合尊の業績の詳細化 狭野命の業績の詳細化
05.08.07	漢委奴国王	追加	オシホミミの業績の詳細化 瓊々杵尊の業績の詳細化
05.08.07	出雲国譲りの真相	修正	ムカツヒメの行動の詳細化

05.05.08	吉備津彦の吉備平定	追加	吉備津彦関連伝承及び年代の追加
05.05.06	倭国大乱伝承編	追加	各伝承の年代推定の項を追加
05.05.05	倭の大乱年表 日野川流域伝承	新規	倭の大乱年表・日野川流域伝承のページ作成
05.05.05	倭国大乱の概要	修正	倭国大乱戦闘過程の具体化
05.04.24	邪馬台国女王卑弥呼	追加	讃岐国における倭迹迹日百襲姫の行動
05.02.05	倭の大乱及び黄泉国神話	変更	孝霊天皇の出雲侵入経路の変更

新村説

私(新村紘宇二)は、天皇制を日本の誇りと思っている。しかし、天皇陛下にも『自由』はあってしかるべきであり、又、自由人の一人でなくてはならないと思っている。昭和天皇は「人間宣言」をなされたが、是非、平成天皇も「自由人宣言」をしてほしいと願っている。古事記・日本書紀に基づく天皇制という所謂『皇国史観』は、今や全く無用「偽作」の長物であり、「菅原道真」の建議による「唐」の冊封を解いた(遣唐使の廃止)、「宇多天皇」の英断の時代からの天皇制こそ、独立日本の、真の天皇制なのである。特に「大化の改新」の「天智天皇」、「壬申の乱」の「天武天皇」の正体、その時代に忽然と登場する「藤原鎌足」一族の正体を突き止めない限り、日本の天皇制の真実の姿は、何も見えないのである。

古事記・日本書紀は、まぎれもなく『偽書』である。記紀は、百濟人 藤原一族一派が、捏造したものである。藤原鎌足は百濟王子「豊璋」であり、天智天皇は鎌足の長男とされる「定恵」である。この親子である鎌足と定恵／天智は、「白村江の戦い」の敗戦処理に際し、「唐」の「劉仁軌」と内通して、嶺南地方に流刑にされたことにして倭国に戻り、唐の傀儡として「大化の改新」を断行したのである。隋や唐に盾を突いた蘇我一族を滅ぼし、倭国の弱体化を狙って大和軍を白村江までおびきだし、まんまと倭軍を大敗させた。その論功行賞として、倭国の事実上の統治を下賜されたのだ。だからこそ百濟の名将「鬼室福信」を惨殺して「塩漬け」に、「入鹿」暗殺時の内通者「蘇我倉山田石川麻呂」も謀反の咎で殺して「塩漬け」にし、その娘、遠智娘(天智の妃、持統女帝の実母)に「塩漬け」にした実父(蘇我倉山田石川麻呂)を見せつけ、狂い死にさせてしまっている。入鹿も「塩漬け」にされ、「蝦夷」に届けられた。「塩漬け」の見せしめ習慣は、倭国の習慣ではなく百濟の忌まわしき習慣なのだ。藤原鎌足と天智／定恵は、こうして唐に百濟と倭国を売ったのだ。その後の「壬申の乱」は、蘇我連子(小野妹子／大海人／天武天皇)一族の復讐戦／仇討ちであり、唐としても、唐に忠誠を誓い唐の冊封を受け朝貢するなら、蘇我連子(小野妹子／大海人／天武天皇)一族の「壬申の乱」はこれを追認したのである。ところが唐の強い意向で藤原鎌足の次男、「藤原不比等」の誅殺は回避され、むしろ反対に唐の監視役として天武朝、持統朝にしぶとく生き残り、持統にとりいって、697 年輕皇子(文武天皇)の擁立に功績を上げ、その後見として政治の表舞台に出てくるのだ。この藤原不比等が、古事記・日本書紀及び各豪族の「風土記」の編纂の長になるのである。当然のように唐からの命令であり、唐にとって都合よく(中原は気高く、倭人は卑しく)且つ百濟にとっても遜色なく編集されたのである。正に脚色であり、潤色であり、改竄なのである。こうして、古事記・日本書紀は唐の意向に沿って、藤原不比等の陰謀により創作されたのだ。だからこそ、唐の傀儡、藤原不比等が、魑魅魍魎の得体の知れない「血まみれ! 糞まみれ!」の記紀神話にしてしまったのだ。そして、唐への追従は「菅原道真」まで続く。道真は藤原時平の讒言により大宰府に流され憤死する。道真のような大義の士は藤原一族にとっては邪魔なのである。道真の怨霊こそ我ら「日本義団」であり、私(新村紘宇二)の怨霊そのものである。

編集

「古代史の復元」

大義の府 日本義塾 新村 紘宇二

<http://gijyuku.634tv.com> gijyuku@634tv.com